

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レッド・プラネット札幌すすきの中央 新築工事	階数	地上14F
建設地	札幌市中央区南六条西5丁目11番2、11番3、12番1、12番2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	231人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2019年7月5日
敷地面積	674 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	452 m ²	確認日	2019年7月6日
延床面積	5,733 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	99%
③上記+②以外の	99%
④上記+	99%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>LED照明、ヒートポンプ空調設備の採用により、省エネルギー性能に努め、リサイクル資源の活用、周辺地域の景観に配慮、ロードヒーティング設備を設置し、雪処理に配慮した。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>LED照明、ヒートポンプ空調設備の採用により、省エネルギー性能に努める。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>リサイクル資材の多数活用により、省資源に努める。</p>	<p>C 緑化</p> <p>景観条例により、周辺の町並みに配慮し落ち着いたトーンの外観とした。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>エントランスには、庇・ピロティを設け、雨宿り可能とし、また、ロードヒーティング設備を設置し、雪処理に配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 レッド・プラネット札幌すすきの中央 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 騒音											
1.2 遮音											
1.3 吸音											
2 温熱環境											
2.1 室温制御											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
3 光・視環境											
3.1 屋光利用											
3.2 グレア対策											
3.3 照度											
3.4 照明制御											
4 空気質環境											
4.1 発生源対策											
4.2 換気											
4.3 運用管理											
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ											
1.2 心理性・快適性											
1.3 維持管理											
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震											
2.2 部品・部材の耐用年数											
2.4 信頼性											
3 対応性・更新性											
3.1 空間のゆとり											
3.2 荷重のゆとり											
3.3 設備の更新性											

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 レッド・プラネット札幌すすきの中央 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)											
1 生物環境の保全と創出											
2 まちなみ・景観への配慮											
3 地域性・アメニティへの配慮											
3.1 地域性への配慮、快適性の向上											
3.2 敷地内温熱環境の向上											
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制											
2 自然エネルギー利用											
3 設備システムの高効率化											
4 効率的運用											
LR2 資源・マテリアル											
1 水資源保護											
2 非再生性資源の使用量削減											
3 汚染物質含有材料の使用回避											
LR3 敷地外環境											
1 地球温暖化への配慮											
2 地域環境への配慮											
3 周辺環境への配慮											

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.0	BEEランク	B+
建物名称	レッド・プラネット札幌すすきの中央 新築工事	総合評価			
建物用途	ホテル				
延床面積	5,732.93 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>この建物は特に 省エネルギー性能 が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア		合計	19点	/24点
A 省エネルギー		合計	19点	/24点
Q1 温熱環境	スコア 3.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.0
Q1 光・視環境	スコア 4.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.0
		LR1 効率的運用	スコア	2.0
B 省資源等		合計	15点	/23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	7.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
C 緑化		合計	7点	/16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	1点	/3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
LED照明、ヒートポンプ空調設備の採用により、省エネルギー性能に努める。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
リサイクル資材の多数活用により、省資源に努める。	景観条例により、周辺の町並みに配慮し落ち着いたトーンの外観とした。	エントランスには、庇・ピロティを設け、雨宿り可能とし、また、ロードヒーティング設備を設置し、雪処理に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される